



# あべ 祐美子 通信



ママの心と、記者の目で。

vol.  
2

2021年 9月

あべ・ゆみこ：都議会議員。都議会立憲民主党政調副会長。経済・港湾委員会委員。1964年東京生まれ。岡山大学法学部卒。新聞記者、在ポーランド日本大使館勤務、品川区議5期。行政書士。品川消防団第6分団班長。品川区北品川在住。

## 若者接種PR10億円は無駄では

### 8月臨時会補正予算案 立憲が減額提案

東京都議会は8月18～20日の3日間、臨時会を開催。3278億円にのぼる補正予算を可決しました。補正予算の主なものは、以下の通りです。

- 1 休業や時短要請に応じた飲食店等への協力金 2417億円
- 2 酸素ステーションの設置 40億円  
新型コロナに感染し症状が悪化しても入院できない感染者に酸素投与などを行う。
- 3 若者へのワクチン接種促進キャンペーン 10億円

都議会立憲民主党は、「若者へのワクチン接種促進キャンペーン」について効果に疑問をもち、事前にヒアリング。

・若者がワクチン接種を希望しても予約ができない現状で促進キャンペーンに予算を割く必要があるのか。

・10億円の費用のうちPR費用が7億5000万円を占め、効果に疑問。

・事業の効果測定も受託した事業者が行うこととなっている。

・ワクチン接種記録を公的証明でない形でアプリに登録することへの疑問。

・若者向けといいながらアプリによる特典対象が20～39歳で、10代は対象外となっている。

――など、さまざまな疑問が出てきました。

#### 接種しやすい環境整備こそ必要

20日の本会議では、私が討論に立ち「若者が接種を望んでもワクチンが足りない状況で、10億円もの税金を投じるのは理解できない。接種しやすい環境整備こそ都の責務であり、若者の意識に責任転嫁すべきでない」と訴えて、10億円の減額修正を提案しました。



この提案が大会派や一部の無所属議員の反対で否決されたのは大変残念ですが、翌21日付の東京新聞（写真↓）ではこの件が「金額に見合う成果は？」として取り上げられました。

「たじろびずなま原 見広そほはつ前只憲ご送」



東京都のコロナ情報は裏面へ→

都政へのご意見、ご要望をお寄せください

あべ祐美子事務所 Tel./Fax 03-3441-9664 E-mail: info@abeyumiko.com

日々の活動はブログで⇒<https://ameblo.jp/abe-yumiko>

